

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員は出入り口の施錠が拘束にあたることを理解した上に於いて、その弊害等について話し合っている。安全を確保しつつ、施錠が常態化しないように、利用者の意志を尊重した取り組みを今後期待したい。	職員の意識の中で、出入り口の施錠が常態化しない。利用者の意志を尊重した取り組みを更に検討する。	職員の意識の中で、出入り口の施錠が常態化しないように、身体拘束について定期的に振り返る機会を持ち、利用者の意志を尊重した取り組みについて検討を行う。	12ヶ月
2	5	構成メンバーに複数の家族代表や民生委員、災害時協力を得ている近隣マンションの管理人などを招くなど、地域に密着した事業所作りについて検討される事を期待する。	運営推進会議のメンバーに、複数のご家族や地域の関係者を加える。	構成メンバーに、複数のご家族の参加を迎えられるよう、再度全ご家族へ参加への働きかけを行う。ゾーン会議等の機会に、地域住民へ参加への働きかけを行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。